



島田市地域活動支援センター ここカラ
とみおか
富岡 みなみ

以前、福祉教育の一環で障害者支援施設に行きました。そこで利用者の方と一緒に過ごした時間がただただ楽しく福祉という仕事に関心を持ちました。
その後、大学の実習先で様々な方に出会い、いろいろな考え方や思いを知り、私の小さかった世界が広がりました。そこで出会ったあたたかな方々に私自身、心がホッとし、魅力を感じ、この仕事を選びました。

始まりは、「一緒にパンの作業をやらない。」がきっかけだったと思います。
他の仕事をしていたこともあり、始めは週2日、2時間だけのスタートが、少しずつ時間を増やし続けていったのは、息子に障害があり、福祉が身近な存在だったからかもしれません。でも、ここまで長く続けてくることができたのは、素敵な人達にめぐり逢い、毎日“たのし〜”と思えるからかな（笑）



就 労 継続 支援 B 型 りなむ
はらだ まさこ
原田 雅子



理事長
すがわら さよこ
菅原 小夜子

今思うと小学生の頃からジェンダーについて思うところがあり、年を重ねるごとに「人の権利が侵されること」「力のあるものが制する社会」に強い怒りを持つようになりました。とにかくませたかわいげのない子供でした…そんな自分が福祉系大学在学中の精神科実習で精神科病院に入院されている方々と出会い、この時代になってもなお権利侵害が現実にあることに驚き、またまた私のスイッチが入ってしまいこの道を決めました。

ここでの出会いは、母の利用できる場所を探している時、見学したのがきっかけでした。ここでの始まり、普段の活動など(渡邊里佳さんから)とても丁寧に説明を受けました。

その後、一緒に活動したいという思いから応募させていただきました。

今年もたいへん
お世話になりました



就 労 継続 支援 B 型 きやらふる
くりはら えいこ
栗原 英子

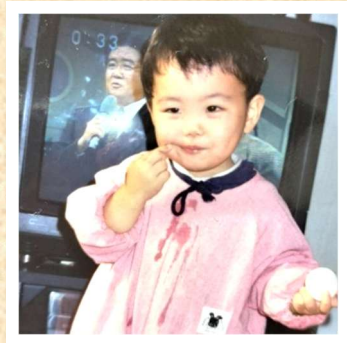
こころのスタッフさんにききました！ このおしごとを えらんだ りゆう

パート2

学生時代に介護保険が始まり、お年寄りとお話をすることが好きだったため、卒業後、介護の仕事を選びました。介護の仕事を通して、人と関わることの楽しさや大切さを学び、こころへ就職をしました。今でも出会いの中で学ぶことが多いと感じています。今後も皆さんと一緒に悩み、成長していくことができたらいいいなと思います。



相談支援専門員
たなか いくみ
田中 郁美



就 労 継続 支援 B 型 きやらふる
あさひな ひろき
朝比奈 弘樹

学生時代に当事者（精神障がい者）との関わりがきっかけでした。当事者との出会いの中で、自分と何も変わらない人たち、むしろ自分よりできる人たちがばかりで、なにか障 害なのか正直わかりませんでした。
「障 害者」というだけで差別・偏見をもつ社会、人としての権利を奪う社会、生きづらい社会に対して多くの疑問を持ちました。差別のある社会を変える想いで、この仕事を選びました。

精神科病院に4カ月間入院して、退院後、叔母の家に挨拶に行ったら「たけちゃんは、優しいから誰かの手助けをする仕事がいいのかもね」と言われたのが、キッカケのひとつです。福祉の道に進むか介護の道に進むか悩んだけど、圏域主催のピア交流会などに参加して、自分と同じような精神障 害のある仲間を支援したいと思うようになり、福祉の道を選択しました。まだまだ経験は浅いけど、天職なのかあ、、、って感じています！



ピアスタッフ
ひろせ たけし
廣瀬 丈士



就 労 継続 支援 B 型 らしく
たかもり あきら
高森 章

私は学校を卒業してから、ずっと商売の世界で働いてきました。そこでは「利益を生むかどうか」が全ての判断基準です。やりがいもありましたが、次第に違った価値観にも興味を持つようになりました。利益だけでなく、人や社会にかかわるような、別の基準で取り組める仕事にも挑戦してみたいと思ったのです。一度きりの人生だからこそ、さまざまな経験をしてみたいと思い、思い切ってこの仕事を選びました。

大学で福祉を学びましたが、精神保健福祉士の存在する意味がわからなくなっていた私は卒業後、一般の職に就きました。しかし総合病院精神科実習でソーシャルワーカーが“人”を大切にする姿が私の中で色濃く残っており、やっぱり“人”を知りたい、“人”とかわりたいと思いこの世界に飛び込みました。精神保健福祉士の存在意義を考え続けることにこそ意味があり、“人間らしさ”を感じるこの仕事に今は魅力があると思っています。



牧之原市地域活動支援センター はぐるま
はしもと まお
梶本 真央



相談支援専門員
わたなべ ゆり
渡邊 祐理

私がこの仕事を選んだ理由は、幼い頃から福祉が身近な存在であったこと、学生時代に人の心の動きに興味を持ったことが発端です。大学で福祉心理学を専攻し、精神保健福祉士という職業を知りました。実習時、指導してくれた方々が、人の人生について、自分や自分の家族の様に真剣に考える姿に、自身もこうありたいと感じました。様々な出会いがあり、人の優しさや強さに触れることが出来る奥深い仕事です。

小さな時からおばあちゃんが大好きで話を聴くことも好きだったので、初めは介護福祉士を目指していました。大学で精神保健福祉士という資格を知り、障がいがある家族がいることも身近に感じ学び始めました。人と人との関わりを深く深く考え学び続けることができ、自らの成長にも繋がるこの仕事に魅力を感じたからです。



就 労 継続 支援 B 型 あじさい
はら えりな
原 恵理菜